

第1年次*組 国語科学習指導案 平成*年*月*日(*)第*校時 第2研修室 指導者 古矢 新			
育成する国語の能力	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。		
単元名	小説 人間の心理		
単元目標	○目的や場に応じて、的確に聞き取ろうとする。 (関心・意欲・態度) ○目的や場に応じて、的確に聞き取ることができる。 (話す・聞く能力) ○国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解することができる。 (知識・理解) (〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の(1)のイ(イ))		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
	・目的や場に応じて、的確に聞き取ろうとしている。	・目的や場に応じて、的確に聞き取っている。	・国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。
取り上げる言語活動	小説『羅生門』の登場人物への取り調べ(質問作成・取り調べ・事件の解明)状況に応じた質問を選んだり、資料に基づいて情報を整理したりすること		
題材(教材)	『羅生門』 芥川 龍之介		
単元(教材)について	(1)生徒観：小説・評論の授業を扱い、単純に文章を読むこと、要約の穴埋めなどはできつつあるが、文章内容を自ら読み取ることには苦手意識をもっている。そのため、必要な情報を取捨選択し、文章内容を把握していくことが課題である。 (2)教材観：人間の心理描写が細かく書かれているので、登場人物の心理的な変化を探し出し、記述に基づいて話したり聞き取ったりする活動に適した教材である。 (3)指導観：単元の導入を読み取りから入るのではなく、事件を少しずつ知ること、自ら事件に興味をもち、事件を把握していくための疑問をもつことと、疑問を明らかにできるように、模擬取り調べを通し質問力を付けられるようにする。		
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価
	1 授業の流れについて説明を受ける。教科書から入らず、ニュース(第一報)を読み、なぜ『羅生門』の事件が起こったのか、情報を基に考える。(第1時)		・単元の見通しをもち、この事件がなぜ起こったのか、情報を基に考えようとしている。(関心・意欲・態度)
	② 4人のグループに分かれ、関係者(「男」(第2時)、「老婆」(第3時))に聴取する質問を考える。(第2,3時)		・目的や場に応じて、的確な質問を考えている。(話す・聞く能力)
	3 実際に質問をする。「男」役はT1が、「老婆」役はT2が行う。(第4時)		・目的や場に応じて、的確に聞き取っている。(話す・聞く能力)
	4 質問した内容をもとに、「男」が追いはぎをした背景をまとめる。(第5時)		・目的や場に応じて、的確にまとめようとしている。(関心・意欲・態度)
	5 4でまとめたものを班ごとに発表する。(第6時)		・目的や場に応じて、的確に発表している。(話す・聞く能力)
6 本文を読み、自分たちがまとめたものと比較し、個別に理解を深める。(第7時)		・表現の特色及び言語の役割などを理解している。(知識・理解)	

本 時 案 (第2時)

<p>本時の目標</p>	<p>○与えられた情報をもとに、『羅生門』関係者への質問をグループごとに話し合い、考えることができる。 (話す・聞く能力)</p> <p>○関係者への質問を通して『羅生門』を考えながら、正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。 (知識・理解)</p>	
<p>学習活動</p>	<p>指導上の配慮事項など</p>	<p>評価・方法など</p>
<p>1 前時に学習した事件の原因について、個別の考えを確認する。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>○前時の内容を、質問しながら生徒に発表させ、確認する。</p> <p>○目標を板書する。</p>	
<p>与えられた情報をもとに、『羅生門』関係者(男)への的確な質問を考える</p>		
<p>3 指示されたグループに分かれる。</p> <p>4 配布されたプリントを読む。</p> <p>5 グループで相談しながら質問を考える。</p>	<p>○グループの指示。4人一組を基本とする。</p> <p>○プリントの説明、及び課題の説明をする。 ○他者の意見を尊重できるよう、注意をする。</p> <p>○机間指導をしながら、「何を聞けば事件の全貌が明らかになるか」「質問の意図はなにか」をチェックしていく。 ○行き詰ったグループには適宜、ヒントを与える。話し合いが活発なグループはヒントを少なめにする。</p>	<p>○与えられた情報をもとに、関係者への質問をグループごとに話し合い、考えている。 (話す・聞く能力)</p> <p>《記述内容の確認》 〈互いの意見を認め合い、適切な意見交換ができているか、確認する。参加が苦手な生徒へは個別に対応し、考えを引き出し、グループ活動の参考意見にしていく。〉</p>
<p>6 次時の予告を聞く。</p>	<p>○本時の確認をし、次時の予告をする。</p>	<p>○関係者への質問を通して『羅生門』を考えながら、正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。 (知識・理解)</p> <p>《記述内容の確認》</p>

《羅生門》

②

氏名

【グループ学習】

○あなたたちは本部から派遣されてきた刑事チームです。この事件には謎があります。この事件は計画的ではなく、突発的に起こった事件のようです。取り調べには時間がかかり、京都警察だけでは手が回らないため、あなたたちは応援を頼まれました。

●チーム係分担 …リーダー（意見をまとめる）・サブリーダー（資料を準備、整理）・書記（メモを取る人）・報告者（全体で質問・発表をする）

☆ヒント①前提（時代背景・世相）

【第一段落抜粋十単語説明表】

ある日の暮れ方のことである。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下には、この男のほかにだれもない。ただ、所々丹塗りのはげた、大きな円柱に、蟋蟀が一匹とまっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかに、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二、三人はありそうなものである。それが、この男のほかにだれもない。

なぜかという、この二、三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか飢饉とかいう災いが続いて起こった。そこで洛中のさびれ方はひととおりではない。旧記によると、仏像や仏具を打ち砕いて、その丹が付いたり、金銀の箔が付いたりした木を、道端に積み重ねて、薪の料に売っていたということである。洛中がその始末であるから、羅生門の修理などは、もとよりだれも捨てて顧みる者がなかった。するとその荒れ果てたのをよいことにして、狐狸が棲む。盗人が棲む。とうとうしまいには、引き取り手のない死人を、この門へ持って来て、捨てて行くという習慣さえできた。そこで、日の目が見えなくなると、だれでも気味を悪がって、この門の近所へは足踏みをしないことになってしまったのである。

Q1 「男」がなぜ強盗を行ったのか（犯行に至った経緯）を聞きとるためにはどのような質問をすれば、事件を起こした理由がわかるでしょうか。

質問（聞きたいこと）を考えましょう。

【質問①】

【答 え】

【質問②】

【答 え】

Q2 実際に加害者「男（T1）」に質問をしてみましょう。

《羅生門》

②

氏名

]

【グループ学習】

○あなたたちは本部から派遣されてきた刑事チームです。新しい情報が出てきました。老婆への質問を考えましょう。

☆ヒント①前提（時代背景・世相）

【第一段落抜粋＋単語説明表】

○ニュース（第二報）

男が追いはぎをしたニュースの続報です。

追いはぎをされた老婆は、空き屋で死体から髪の毛を抜き、カツラを作って売る仕事をしていたそうです。

Q1 被害者だったはずの老婆にも、わけありということがわかりました。次にあなたたちは老婆へ事情聴取を行います。適切な質問（聞きたいこと）を考えてみましょう。

実際に被害者「老婆（T2）」に質問を試みましょう。

〔質問①〕

〔答 え〕

〔質問②〕

〔答 え〕

Q2 老婆に話を聞いた後、再度「男」に質問をしたいことがあれば考えましょう。

〔質問①〕

〔答 え〕

〔質問②〕

〔答 え〕

Q3 この事件はなぜ起こってしまったのでしょうか。